

川越市議会議員 各位

おぞましく不快極まりない話が本紙に入りました。

当該問題は、黙してはならぬ事柄故に、識見に富む議員の先生方に確とした御調査を賜りたく御願ひ申し上げる次第です。

先月、本紙に一人の男性が訪ねてきました。

男性は、明ヶ戸亮太川越市議会議員の知人とのことで、同議員から聞いた話として、「川越市長である川合善明氏が川越市議を介して、未成年の女子学生を買春〔かいしゅん・男の方が報酬を与え、女性の貞操を買うこと〕した」という告白をしたのです。

本紙はその内容に驚愕しました。

明ヶ戸市議の口ぶりから嘘や冗談を言っている様子ではなかっただけに、男性もこの話を聞いた時には驚愕したそうです。

「そのような話をなぜ、本紙に持ち込んだのか」と問うと、

「明ヶ戸市議が一市民である自分に、このような話をしたほどであるから川越市議会内で当然、問題にするだろうと思っていたが、その後いまに至るまでそのような動きがない。議員が市民に噂を広げて、議会では問題にしないというのはおかしいと思い、本紙を訪ねることにした」とのことでした。

かつて、川越高卒業時のクラス3年C組の集まりで酒に酔った川合市長が、そのメンバーの中に現役の医師がおり、その方に「バイアグラを頂戴!! バイアグラを頂戴!!」と大声で迫り、側にいた人物より「君はすでに公人なのだから、仮初

にもそういうことは言うべきではない。誰が聞いているかも分からないから気を付けろ」と厳しく窘められ、川合市長はシユンとなり皆と離れ一人酒を呑んでいたという。この一件は、既に市中に流布している。

また、川合市長はカラオケが大好きで、集いの輪の中の女性を選び一緒に歌う時に、モソモソと女性の体をまさぐる癖もあるようだ。「市長と一緒に歌うと、必ず触られる」という話を耳にしている人は少なくない。

川合市長にはこのような前歴があるだけに、市議を介して未成年の女子学生の買春を行ったという噂は真実として広がりかねません。

明ヶ戸市議がなぜこのような話を一市民にしたのか、さらに他の市民にも話しているのかは定かではありませんが、市議を介して市長が「未成年の女子学生の買春をしたという噂」が川越市内に広まることは、川合市長・川越市議会にとつて不名誉であるだけでなく、川越市民全体にとつても極めて不名誉なことです。

この一件は、一般市民が軽々に処置できる問題ではありません。

従って、本紙でも現時点ではこの問題を取り上げるつもりはありません。

選良と言う言葉で呼ばれ、人格・識見ともに市民の優れた代表者であられる川越市議会議員各位による徹した御調査を賜わり、市民の不安の声が高まらぬうちに黒白明らかにして戴きたく、市民社会に向けたる御奉仕を宜しく御願ひ申し上げます。以上

令和元年十二月十八日

行政調査新聞社 社主 松本州弘